

副読本p82～p127

オリエンテーション（2時間 P 8 2～8 3）

【本時の目標】

これまでの学習や自分たちの体験をもとにした北海道のイラストマップづくりを通して、道内の他地域や道全体の様子に関心をもつ。

【学習展開例】

- ①今までに道内で行ったことのある市町村名や観光名所等を発表交流しながら、地図帳でその位置を確認し北海道の白地図に記していく。
- ②持ち寄ったパンフレットや写真、土産品の包装紙等を紹介し合いながら、それぞれの土地の様子や人々の暮らし、産業等について発表したり、疑問に思ったことを交流する。
- ③北海道の様子について、調べることや調べる方法を話し合う。

【資料・留意点】

- ・本時の学習前に、道内各地の資料（パンフレット・写真・土産品の包装紙等）を準備させておきたい。北海道庁 <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/>からの検索もおすすめ
- ・北海道の白地図（模造紙大以上の大きさが望ましい）
※学級の人数によって、全体学習・グループ学習の形態が考えられる。

1 島の人たちの暮らし～奥尻島の人たちの暮らし

わぁ、海にかこまれている（1 / 1 0 P 8 4～8 5）

【本時の目標】

奥尻島の様子に関心をもち、写真や地図資料から疑問に思ったことを発表し合い、地形の様子、産業、奥尻島の人々の暮らしについて調べる意欲をもつ。

【学習展開例】

- ①奥尻島について知っていることを発表交流する。
- ②奥尻島の地形的特色をとらえ、思ったことや疑問を出し合う。
- ③奥尻島の人々の暮らしについて、調べることや調べる方法を話し合う。

【資料・留意点】

- ・できるだけ事前に奥尻島に関する資料を収集しておきたい。
- ・奥尻島の地形的特色をおさえることが大切。（地図帳の活用）
- ・ホームページの活用（奥尻町 <http://www.town.okushiri.lg.jp/>）

奥尻島のように（2～3／10 P86～87）

【本時の目標】

奥尻島の様子を地形や豊かな自然からとらえるとともに、その特色を生かした産業が営まれていることに気付く。

【学習展開例】

- ①奥尻島の地形や自然の特色をおさえ、どんな産業が盛んなのかを予想する。
- ②奥尻町の就業人口グラフから、なぜ漁業とサービス業（観光）が盛んなのかを話し合う。
- ③奥尻町の漁業の様子（どんな魚がとれるのか？等）を予想する。（次時へ）

【資料・留意点】

- ・奥尻町就業人口グラフ（縦軸：人）
- ・奥尻町の自然と産業が密接に関わっていることに気付かせたい。
- ・平均気温や就業人口グラフなどは函館と比較させるなど自分たちの住んでいる町と比べるなどして実感的な理解を図りたい。

箱に魚がいっぱい！（4～5／10 P88～89）

【目標】

奥尻町の漁業をする人たちの仕事の様子を調べ、奥尻町の漁業について考えることができる。

【学習展開例】

- ①奥尻町では、どんな魚がとれるのか予想する。
- ②魚のとれ高のグラフや1年間の仕事ごよみから、奥尻町の漁業をする人たちの仕事の様子について話し合う。
- ③離島のために魚価に運送費などの経費がかかることを例に、漁業を営む上での悩みや工夫を予想する。

【資料・留意点】

- ・魚の取れ高のグラフ（縦軸：万円）
- ・1年間の仕事ごよみ
- ・離島のため運送費等がかかり、他地域に比べて魚価が高くなってしまいうということもおさえたい。
- ・奥尻町HP→メニュー→産業（「魚種別漁業生産高の推移」）

とる漁業から育てる漁業へ（6／10 P90～91）

【目標】

奥尻町では資源の減少にともない、とる漁業から育てる漁業に力を入れていることをとらえることができる。

【学習展開例】

- ①年々資源が減少していることを知り、安心して漁業をするためにどんな工夫をしているのかを予想する。
- ②漁業協同組合の主な仕事や奥尻町の計画から、漁業をさかんにするために行っている工夫や取り組みを考え、話し合う。

【資料・留意点】

道南でも養殖に力を入れているところが多い。

噴火湾沿岸：ホタテ貝

下海岸～南茅部：昆布の養殖

知内～牡蠣の養殖 等

くらしの広がり（7～8／10 P92～93）

【目標】

奥尻町に住む人々の暮らしの様子を他地域とのつながりを考えながら、とらえることができる。

【学習展開例】

- ①離島という特色ある地域性から、どんな悩みや工夫があるかを予想する。
- ②フェリーやバス・飛行機といった交通機関の働きと奥尻町の人たちの生活について考え、話し合う。
- ③奥尻町に住む人たちにとって、フェリーが果たしている役割を考える。

【資料・留意点】

- ・品物に運賃がかかることをおさえたい
- ・フェリーの欠航が奥尻町の人たちに与える影響を考えさせたい。
- ・飛行機も冬に悪天候で欠航する事が多かったが、大きい機体に変えて安定した運行の実現に努力している事も知らせたい。

大きな災害をのりこえて（9～10 / 10 P 94～95）

【目標】

大きな自然災害を乗り越えて、新しい町づくりをめざす奥尻町の人々の願いや思いについて考えることができる。

【学習展開例】

- ①北海道南西沖地震について、知っていることを発表しあう。
- ②奥尻島が受けた被害について表や写真を見ながら、話し合う。
- ③役場のおじさんのお話から、新しい町づくりや奥尻町の人々の願いを話し合う。

【資料・留意点】

- ・北海道南西沖地震の資料を提示したい。（写真・VTR等）
- ・奥尻島観光協会HP <http://unimaru.com/>

2 平地の人たちの暮らし ～十勝地方の人たちの暮らし

わぁ、畑が広がっているよ（1 / 5 P 96～97）

【本時の目標】

十勝地方の様子に関心をもち、写真や地図資料から疑問に思ったことを発表し合い、地形の様子、産業、十勝地方の人々の暮らしについて調べる意欲をもつ。

【学習展開例】

- ①十勝地方について知っていることを発表交流する。
- ②十勝地方の地形的特色をとらえ、思ったことや疑問を出し合う。
- ③十勝地方の人々の暮らしについて、調べることや調べる方法を話し合う。

【資料・留意点】

- ・できるだけ事前に十勝地方に関する資料を収集しておきたい。
- ・十勝地方の地形的特色をおさえることが大切。（地図帳の活用）
- ・ホームページの活用
（北海道十勝総合振興局 <http://www.tokachi.pref.hokkaido.lg.jp/>）
（国土交通省北海道開発局
帯広開発建設部農業部門 <http://www.ob.hkd.mlit.go.jp/hp/agri/toppage.html>）

広い土地にたくさんの作物（2 / 5 P 98～99）

【本時の目標】

十勝地方ではその地形を生かし、いろいろな作物が作られていることを理解する。

【学習展開例】

- ①十勝地方の特産品で、知っているものを発表し合い、交流する。
- ②たくさんの作物が十勝地方で作られていることを写真や地図帳で確認し合う。
- ③なぜいろいろな種類の作物が作られているのかを予想する。

【資料・留意点】

- ・ 地図帳の活用
- ・ 写真（小麦畑・豆・スイートコーン畑・ビート畑・長芋畑・牧場）
- ・ 十勝支庁図
- ・ 酪農も盛んであるということもおさえない。

北海道でいちばんの畑作地帯（3 / 5 P 100～101）

【本時の目標】

十勝地方の農家の人たちは、土地の広さや気候を生かし、北海道で一番の畑作地帯になっていることを理解することができる。

【学習展開例】

- ①前時の学習と結びつけながら、帯グラフ（面積の割合・生産額の割合）から気づいたことを発表し、話し合う。
- ②農家の一年の仕事の様子から、気付いたことを発表し合い、農家の仕事の様子について考える。
- ③十勝平野が北海道一の畑作地帯になっている理由を考える。

【資料・留意事項】

- ・ 畑作物を作っている面積の割合（帯グラフ）
- ・ 畑作物の生産額の割合（帯グラフ）
- ・ 地図帳の活用
- ・ 前時の学習と結びつけながら進めることも可能。

十勝地方の農産品を生かして（４／５ P102～103）

【本時の目標】

じゃがいも、ビートといった十勝平野の農産品を生かし、それを加工し製品をつくっている工場があるということから、農産品と工場の結びつきについて考えることができる。

【学習展開例】

- ①酪農から牛乳を例にとり、十勝平野での農産品から加工される製品を予想する。
- ②農産品と工場との結びつきについて調べる。
- ③農産品と結びついた工場について考えたことを発表し、話し合う。

【資料・留意事項】

- ・地域の特産品を加工してということでは、すでに既習している函館市のいかと水産加工場という図式もひとつの例として考えることができるだろう。
- ・砂糖や牛乳については子供たちもよく知っているが、でんぷんはなかなかイメージできないであろう。そこででんぷんから作られる製品を資料として載せている。

グラウンドでスケート！？（５／５ P104～105）

【本時の目標】

十勝地方の気候の様子と人々の暮らしについて、自分たちの暮らしと比較しながら考えることができるようにする。また、寒さを守る工夫や人々の願いについて考えることができる。

【学習展開例】

- ①グラウンドでスケートをしている写真や函館市と帯広市の年間平均気温の比較から十勝地方の冬の厳しさについて予想する。
- ②十勝地方の人々は、厳しい寒さから生活を守るためにどんな工夫をしているのかを予想する。
- ③和哉くんのおばさんの話や小学生の作文から十勝地方の寒さの厳しさを自分たちの暮らしと比較しながら考え、発表し、交流する。

【資料・留意点】

- ・グラウンドでスケートをしている子供たちの写真
- ・函館市と帯広市の年間平均気温の比較
- ・自分たちが住んでいる函館市と比較しながら考えを深めさせたい。
- ・ロードヒーターの取り付け工事の写真
- ・寒さから暮らしを守る家の工夫の図

3 地場産業にとりくむ人々の暮らし～旭川市の家具作り

なにに使われるんだろう（1／4 P106～107）

【本時の目標】

旭川市の家具づくりに関心をもち、写真や資料から疑問に思ったことを発表し合い、調べる意欲をもつことができるようにする。

【学習展開例】

- ①旭川市について知っていることを発表交流する。
- ②旭川市の家具づくりについて思ったことや疑問を出し合う。
- ③旭川市の家具づくりについて、調べることや調べる方法を話し合う。

【資料・留意点】

- ・家具の材料になる木材の写真
- ・できるだけ事前に旭川家具に関する資料を収集しておきたい。
- ・ホームページの活用 旭川家具協同組合

旭川家具ができるまで（2／4 P108～109）

【本時の目標】

旭川家具が完成するまでの仕事の様子を調べ、ひとつの家具ができあがるまでには、いろいろな技術が必要なことに気づくことができる。

【学習展開例】

- ①旭川家具がどのように作られているかを予想する。
- ②家具づくりの行程を写真やイラストで確認し、気が付いたことや感じたことを発表し、交流する。

【資料・留意点】

- ・旭川家具のつくられた量（平成21年度）
- ・家具づくりの行程の写真やイラスト

旭川家具のれきし（3／4 P 1 1 0～1 1 1）

【本時の目標】

旭川家具づくりの歴史を調べ、旭川市で家具づくりがさかんになったわけを考えることができる。

【学習展開例】

- ①なぜ旭川市で家具づくりが盛んになったかを予想する。
- ②盛んになった理由を旭川の家具づくりの移り変わりの中から考え、発表する。

【資料・留意点】

- ・旭川市と大雪山の位置関係を地図帳で確認する。

世界に発信する旭川家具（4／4 P 1 1 2～1 1 3）

【目標】

旭川家具を作っている人たちが、よりすぐれた製品を作るための工夫や努力をしていること、そして森林資源を守るために長く使える家具づくりをめざしていることをとらえることができる。

【学習展開例】

- ①家具づくりをする人たちの願いを予想する。
- ②杉本さんのお話から、家具づくりをする人たちの工夫や努力、そして願いを考え、感じたことを発表し交流する。

【資料・留意事項】

- ・『国際家具デザインフェア旭川』の開催
- ・旭川工芸センターの役割

4 北海道の地図を広げて

土地の広がり (1/5 P 114~115)

【本時の目標】

北海道の地図を見ながら、北海道の形を何かになぞらえたり、自分たちの住む函館市の位置を確かめたりして、北海道の形や広がりをとらえることができるようにする。

【学習展開例】

- ①道内の周りの様子を調べ、方位を使って北海道の市の位置について話し合う。
〔函館市の位置・北側には？南側には？等・八つの方位〕
- ②北海道の形の簡単なかき方を工夫する。
- ③かいた作品を発表し合う。

【資料・留意点】

- ・ 広範囲に写した写真 立体模型図 地図帳
- ・ 地図帳の効果的な活用を図る。
- ・ 北海道の形のかき方にも興味をもたせたい。

土地のようす (2/5 P 116~117)

【本時の目標】

北海道の地形図づくりを通して、土地の高低の表し方を理解するとともに、完成した地形図から北海道の土地の様子の特徴に気付くことができる。

【学習展開例】

- ①北海道の白地図を色分けしたり、川の流れをたどったりしながら、土地の高低について調べる。
〔北海道の周りの海・川・山脈や山地・平野等〕
- ②できあがった地図を見ながら、どんなことがわかるか話し合う。

【資料・留意点】

- ・ 等高線入りの白地図を用意したい。
- ・ 地図帳の活用
- ・ 等高線の意味と表し方、地図の見方についても指導する。〔教科書・地図帳の活用〕
- ・ 土地の様子イメージ化を図るためにも立体模型や写真等を効果的に活用したい。
- ・ グループでの取り組みも可能

田や畑の広がり (3 / 5 P 1 1 8 ~ 1 1 9)

【本時の目標】

北海道の農業について、地図作りをしながらその特色を考えることができる。

【学習展開例】

- ①じゃがいもの送り先について話し合う。
- ②北海道の主な農産物や産地を調べる。
〔十勝地方の学習を生かしながら 農産物の種類・産地等〕
- ③調べたことをイラストマップ（白地図）にまとめる。

- ④北海道の農業の特色や様子について気がついたことを発表し、交流する。

【資料・留意事項】

- ・十勝地方の学習を本時の学習に生かす。
 - ・イラストマップ（白地図）を準備
 - ・地図帳の活用
- ※次時の**工場のひろがり**と並行しながら、グループでマップづくりに取り組み、調べた内容を交流し合うという学習の流れも考えられる。

工場の広がり (4 / 5 P 1 2 0 ~ 1 2 1)

【本時の目標】

北海道の工業について、地図作りをしながらその特色を考えることができる。

【学習展開例】

- ①北海道の主な工業製品とその生産地を調べる。
〔旭川の家具づくりの学習を生かす 工業製品の種類・製品の生産地・特色等〕
- ②調べたことをイラストマップ（白地図）にまとめる。
- ③北海道の人たちの仕事についてグラフを見ながら気付いたことを発表し話し合う。

【資料・留意事項】

- ・旭川の家具づくりの学習を本時の学習に生かす。
- ・イラストマップ（白地図）を準備
- ・地図帳の活用

交通の広がり 道路をたどって (5/5 P 122~123)

【本時の目標】

北海道の主要な交通機関をおさえながら、函館市と他都市とのつながりについて考えることができる。

【学習展開例】

- ①農産物や工業製品はどのように運ばれているのかを話し合う。
- ②北海道の主な道路や鉄道の広がりを調べ、気がついたことを話し合う。
〔鉄道：JR，青函トンネル 道路：高速，国道 空港 フェリー 等〕
- ③函館市の交通とのつながりや広がりについて話し合う。
- ④調べたことをもとに交通マップ作りをする。

【資料・留意事項】

- ・物の働きや輸送手段に目を向けさせる。
- ・取り上げる路線は主なものでよい。
- ・白地図の準備
- ・教科書の交通マップを参考にさせる。
- ・北海道新幹線HP <http://www.do-shinkansen.com/index2.html>

5 太平洋のげんかん苫小牧 工業製品のゆくえをおって 苫小牧港を調べる

(1~2/3 P 124~125)

【本時の目標】

苫小牧港から輸出される品物をおさえながら、海外とのつながりについて考えることができる。

【学習展開例】

- ①苫小牧市で作られている紙は、どこへどのように運ばれているかを話し合う。
- ②苫小牧港から送り出される品物とその送り先を調べる。
〔輸出品の種類・輸出相手国・輸出量等〕
- ③絵地図にまとめてみる。

【資料・留意点】

- ・地図帳の活用
- ・世界白地図
- ・苫小牧港から送り出される主な品物と送り先
- ・苫小牧港管理組合HP <http://www.jptmk.com/>

港に入ってくる品物 (3 / 3 P 1 2 6)

【本時の目標】

苫小牧港に輸入される品物をおさえながら、海外とのつながりについて考えることができる。

【学習展開例】

- ① 苫小牧港に入ってくる品物とその輸入国を調べる。
〔輸入品の種類・輸入相手国・輸入量等〕
- ② 絵地図にまとめてみる。

【資料・留意点】

- ・ 地図帳の活用
- ・ 世界白地図
- ・ 苫小牧港に入ってくる主な品物とその出発地

学習のまとめ 2 時間

北海道のしょうかいをしよう (2 時間 P 1 8 7)

【本時の目標】

本単元での学習を生かしながら、興味関心をもったことを中心に工夫したまとめをし、北海道の概要や特色について考えることができる。

【学習展開例】

- ① 北海道の概要や特色について学習してきたことをまとめる。
- ② 学習のしかたを振り返り、今後の学習に生かしたいことを話し合う。

【資料・留意事項】

- ・ 個々の実態や興味に合わせたまとめ方の工夫をする。
- ・ これまでに作成してきたものを活用させたい。
- ・ 学級の実態に応じてグループでのまとめも考えられる。

時間数はあくまでも目安です。

小学校教育課程編成資料第3学年及び第4学年

では、13時間扱いとしています。

各学校の実態に合わせて変更してください。